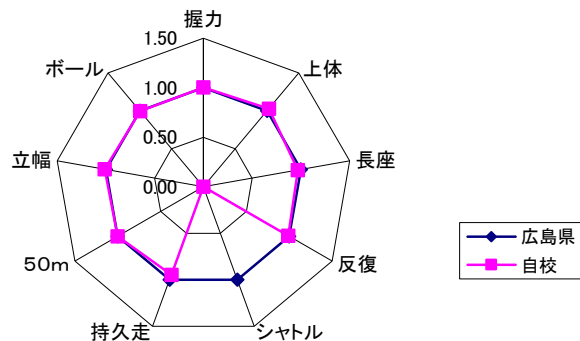


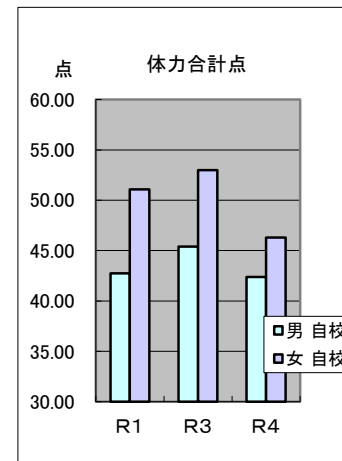
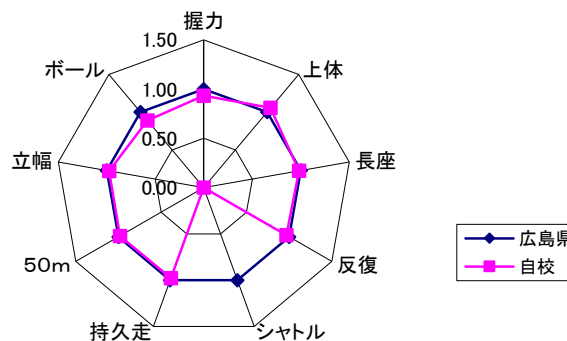
男子の体力合計点 学校 42.38点 県平均 42.82点

体力・運動能力調査比較(中2男子)



女子の体力合計点 学校 46.28点 県平均 49.1点

体力・運動能力調査比較(中2女子)



R4体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)
 ・男子は、0.01秒下回っているが、女子は0.2秒以上上回っている。
 ・本校の生徒は、全体的に体育授業、休み時間の外遊びに対して意欲的で、コロナ禍の中でも、運動量は確保できているが、走り方、走るための体力が十分に身に付いていない現状がある。

② 握力(中学校区の課題種目)
 ・男子は改善傾向にあり、全国平均、県平均共に上回っているが、女子は、全国平均、県平均、呉市の平均を下回っている。
 ・昼休みにグラウンドを開放するなど、保健体育科の授業以外で運動をする機会はあるものの、握力向上につながる運動に関しては、なかなか取り組めていない。

② 持久走(自校の課題種目)
 ・全学年とも課題が大きい種目であり、特に2年男子は、全国平均、県平均、県市平均を下回っている。
 ・昼休みにグラウンドを開放するなど、保健体育科の授業以外で運動をする機会はあるものの、持久力を高める運動に関しては、実施できていない。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走) 具体的な数値目標 (男子0.1秒, 女子0.1秒)	具体的な取組内容 ・陸上競技の単元において短距離走を取り上げ、走力・瞬発力・全身持久力を向上させる内容を意識的に取り入れ、スタート方法や中間疾走、フィニッシュについて指導方法を工夫して取り組む。
②中学校区の課題種目 (握力) 具体的な数値目標 (男子5kg, 女子2kg)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・体育の準備運動後、補強運動として、ゲーパ運動を取り入れたり、小学校と連携し、授業以外の朝の会や帰りの会などでも取り組める運動を取り入れるなど、握力向上に向けた取組を行っていく。
③自校の課題種目 (持久走) 具体的な数値目標 (男子20秒短縮, 女子10秒短縮)	具体的な取組内容 ・陸上競技の授業の中で、持久走の記録のクラス平均を出し、ランキングで掲示し、競争意識を持たせることで、記録の向上を図っていく。

※ 具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)